

一般社団法人 電波産業会

Association of Radio Industries and Businesses

No.1176 2019年6月24日

ARIBからのお知らせ 🗀

第 169 回 電波利用懇話会 「ローカル 5G の実現に向けた総務省の取組」ご案内

第5世代移動通信システム(5G)は、「超高速・大容量化」に加え「超低遅延」、「多数同時接続」を実現し、多種多様なニーズに応じて、柔軟に無線通信システムの利用環境を提供することが可能となっています。

これまで総務省では、全国サービスの 5G について、総合実証実験や 5G 利活用アイデアコンテストなど様々な推進施策が実施され、本年 4 月には周波数割当てが行われました。一方で、情報通信審議会新世代モバイル通信システム委員会において、様々な地域のニーズや産業分野の個別ニーズに応じて、様々な主体が自ら柔軟に構築、利用可能な第 5 世代移動通信システムである「ローカル 5G」について、基本コンセプトや、免許の基本的な考え方及び技術的条件等について検討が行われ、このたび報告書が取りまとめられました。

今回の電波利用懇話会では、総務省電波部移動通信課の大塚恵理課長補佐をお招きして、 6月18日に答申が出されましたローカル5Gの技術的条件及び委員会の報告書の内容を 中心に、総務省のローカル5Gの実現に向けた取り組みに関してご報告いただきます。

また、電波産業会が事務局を務める第 5 世代モバイル推進フォーラム (5GMF) では、ローカル 5G 等の地域利用の推進のための新たな委員会の設置等の取組を進めており、5GMF 事務局からご説明させていただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようにご案内申し上げます。

記

1 日 時:2019年7月16日(火) 午後14時から15時30分まで

2 場 所:一般社団法人電波産業会 会議室

東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階

3 題 名:ローカル 5G の実現に向けた総務省の取組

4 講 師:総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 課長補佐 大塚 恵理 様

5GMF 事務局長代行 大村 好則 (電波産業会)

5 参加者:60名程度(定員になり次第締め切らせていただきます。)

6 申 込 先 : 当会ホームページの「講演会等開催案内」よりお申込みください。

(https://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html)

7 参 加 費:ARIB正会員、賛助会員は無料、非会員は5,000円

8 問合せ先:企画国際部電波利用懇話会事務局 辻道

TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2019@arib.or.jp

aribo**j**it

タイでの 5G 関連イベントの概要

総務省とタイ国家放送通信委員会 (NBTC: The National Broadcasting and Telecommunications Commission) が主催し、ARIBと 5GMF が共催した $\lceil 5G \rceil$ に関するワークショップ」と「技術交流会」が 6月 12日~13日にタイ・バンコクで開催されました。

<5G に関するワークショップ>

1. 会合名: NBTC-5GMF Joint Workshop on 5G

2. 主催: 総務省、NBTC

3. 共催: ARIB、5GMF

4. 日時: 2019年6月13日(木)9:30-16:30

5. 場所: The Berkeley Hotel Pratunam Bangkok (タイ・バンコク)

6. 出席者:

タイからは、NBTC の Commissioner の Prasert Silphiphat 氏、 Executive Director Spectrum Management Bureau の Saneh Saiwong 氏の他、通信事業者、製造メーカー、大学・研究機関等から、約 150 名が参加しました。

日本からは、総務省電波部移動通信企画官の片桐氏、NTTドコモの奥村氏、KDDIの酒井氏、ソフトバンクの吉野氏、富士通中村氏、NEC田上氏・坂本氏、NICT石津氏 並びに 5GMF 事務局の佐藤・近藤の 10 名が参加しました。

7. 概要:

本ワークショップは、主催・共催の代表者の Welcome Remarks、Keynote Address、Keynote Speech に続いて、総務省が実施している「5G 総合実証試験」に関する情報・成果等の講演と質疑応答が行われました。

1) 歓迎の挨拶

NBTC Executive Director Spectrum Management Bureau の Saneh Saiwong 氏から 総務省、ARIB、5GMF はじめ関係者の協力に感謝する開会の挨拶がありました。

2) Welcome Remarks (写真 1)

総務省 片桐企画官から、総務省が実施している日本での「5G 総合実証試験」の状況、2020 年のオリンピック・パラリンピックに向けたロードマップ等を含めた挨拶がありました。

3) Keynote Address

NBTC Commissioner の Prasert Silphiphat 氏から、総務省、ARIB、5GMF はじめ関係者の協力に感謝するとともに開会の挨拶がありました。

4) Keynote Speech

5GMF 事務局長の佐藤が、 "Cross-regional collaboration towards the realization of 5G" と題して、5G に関する世界の動向、日本での 5GMF 活動の紹介、5G のキーワード等を含めたスピーチを行いました。

5) 技術講演 (写真 2, 3)

総務省、5GMF から 7 名、NBTC 側から 5 名のプレゼンテーションが行われました。

6) Wrap-up, Q&A and Closing

NBTC の Thirapiroon Thongkamwitoon 氏を司会として、聴講者からの「日本の 5G のための周波数戦略と割当結果、5G 実証実験結果及び 5G のユースケース」等についての質問・コメントに基づいて、講演者との間で活発な質疑応答が行われました。

<技術交流会(5G Meeting between 5GMF and the NBTC Officers)>

1. 共催: NBTC、5GMF

2. 日時: 2019年6月12日(水) 14:20-16:45

3. 場所: NBTC 本部の講堂 (タイ・バンコク)

4. 出席者:

タイ: NBTC の Commissioner の Prasert Silphiphat 氏、Executive Director Spectrum Management Bureau の Saneh Saiwong 氏の他、NBTC 職員等から、約 100 名が参加しました。

日本:総務省電波部移動通信企画官の片桐氏、NTT ドコモの奥村氏、KDDI の酒井氏、ソフトバンクの吉野氏、富士通 中村氏、NEC 田上氏・坂本氏、NICT 石津氏、5GMF事務局の佐藤・近藤が参加しました。

5. 概要:

総務省が実施している「5G総合実証試験」に関する情報・成果等の展開及び情報交換と 両組織間の今後の協力関係の進め方に関する意見交換を目的とした技術交流会を開催し ました。 1)「5G 総合実証試験」に関する情報・成果等に関する情報交換(写真 4) 日本から以下の分担でプレゼンテーションを行いました。

➤ 石津氏: 5G R&D Activities

▶ 奥村氏及び酒井氏、吉野氏: 5G Field Trials in Japan

▶ 田上氏及び中村氏: 5G Use Cases in Japan

NBTC から 2名のプレゼンテーションが行われました。

- ➤ ARD-PARU 氏及び SRINUAN 氏: NBTC Preparation for 5G & Field trial activities
- 2) 今後の協力関係に関する意見交換
 - ▶ 今後については、今回のような技術交流会を継続して開催する方向で検討することになりました。



写真 1 Welcome Remarks を行う総務省電波部移動通信企画官 片桐氏



写真2 ワークショップでの講演者 集合写真



写真3 ワークショップの模様



写真 4 技術交流会での講演者 集合写真

2019 年度 ITS 情報通信システム推進会議 総会を開催

6月19日(水)、ARIBが事務局を務めるITS情報通信システム推進会議の2019年度総会・ 懇親会が明治記念館で開催されました。総務省を始めITS関連省庁・団体、一般・特別会員から 約90名が参加し、佐々木会長の挨拶並びに総務省総合通信基盤局 田原電波部長の来賓ご挨拶 に続き、「2018年度の事業報告および収支決算」、「2019年度の事業計画および収支予算」、「2019 年度運営委員の選任」、「2019年度役員の選任」の4件の審議が行われ、いずれも議案どおり 議決されました。







総務省 田原電波部長

なお、2019 年度の会長は佐々木眞一様(トヨタ元副社長・客員)、新たに副会長に今井秀樹様 (東京大学名誉教授)、会計監査に坂田毅様(ヨコオ)が選任されました。

佐々木会長の挨拶では、1999 年 7 月に設立した当推進会議は 20 年目を迎えることになり、自動車業界でも「コネクティッド化」や「自動運転化」を表す「CASE」に関する技術革新が急速に進み、100 年に一度の大変革時代に入っていることを実感している、と語られました。さらに、今年は世界無線通信会議(WRC-19)が 10 月に開催され、ITS 関係の重要な議題も議論されるため、当推進会議としても関係省庁、ITS 関連団体・企業などの方々のご協力をいただきながら我が国のITS技術がしっかりと位置づけられるように取り組むとの強い思いも語られました。

2018年度活動成果として、例年通りに専門委員会・WGを定期的に開催し、安全・安心や利便性向上に資する ITS 無線システムの実用化、普及促進に向けた活動および自動運転で必要とされる無線通信方式の検討などが推進されました。また、DSRCシステムとの同一周波数帯あるいは隣接システムが稼働してきており、これらに関する留意事項を記載した「DSRCシステム基地局設置のガイドライン(ITS FORUM RC-003)」1.1版を10月24日に改定を行いました。国際電気通信連合 無線通信部門 (ITU-R) やアジア・太平洋電気通信共同体 (APT) などに参加し、世界無線通信会議 (WRC-19) 議題 1.12「ITS Applications ((ITS 用周波数の世界的調和)」、議題 1.16「5GHz 帯無線 LAN の周波数帯域拡張」に対する活動体制の強化を図り、国際標準化活動を支援しました。さらに、12月に開催した VSC セミナーでは高度運転支援システムと自動運転システムの国際動向、ITS 無線システムの国際標準化動向、次世代無線通信方式の検討状況について、9名の講師から講演をいただきました。また、ITS 世界会議コペンハーゲン 2018 (9月) では JAPAN パビリオン内に推進会議と 5GMF で連携して活動の紹介パネル展示を行うとともに、推進会議主催で欧・米・亜の ITS 専門家との情報交換会を行いました。

2019 年度の事業計画として、昨年度から引き続きコネクテッドカー、自動運転等の次世代 ITS 実現に向けて必要な無線技術の研究開発を進め、実験用ガイドラインのまとめを目指すと ともに、WRC-19 議題 1.12 に向けて ITU-R、APT などでの国際標準化、国際協調活動を支援、

ITS 世界会議シンガポール 2019 (10 月) への対応などが説明されました。また、最後に新体 制の報告が行われ、名誉顧問に羽鳥光俊様(東京大学名誉教授)、運営委員長に川嶋弘尚様(慶 應義塾大学名誉教授)、企画部会長に小花貞夫様(電気通信大学特任教授)、高度化専門委員長 に重野寛様 (慶應義塾大学教授) が紹介されました。

総会後の懇親会では、関係省庁・団体を含む ITS 関連者と推進会議会員が交流を深めるとと もに、自動運転向け無線通信システムの実用化に向けた取り組みを日本が先行させる決意を強 くしました。



総会の模様



川嶋 新運営委員長

今週の ARIB 内会合(6月24日~6月28日)

6月24日(月) 第51回 モバイルパートナーシップ部会

6月25日(火) 第9回 定時総会、第27回 理事会

第30回 電波功績賞表彰式・祝賀会 (ホテルニューオータニ) 6月25日(火)

6月25日(火) 4K8K ファイルフォーマットJTG

6月26日(水) 第276回 技術委員会(通信分野)

6月26日(水) 第 44 回 無線 LAN システム開発部会

6月27日(木) 第74回 デジタル放送システム開発部会

6月27日(木) 第36回 調査統計小委員会

今週の国際会合(6月24日~6月28日)

参加を予定している会合はありません。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS 発 行

一般社団法人 電波産業会

●100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階 TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103 http://www.arib.or.jp E-mail arib news@arib.or.jp